

平成25年度第1回安全・安心な食のまち・さっぽろ推進会議
会議結果（概要版）

【日時】 平成25年7月31日（水） 10時00分～11時30分

【場所】 WEST19（中央区大通西19丁目） 2階 大会議室

【議事】 委員の互選により、会長として池田氏を、副会長として大金氏をそれぞれ選任した上で、別添式次第に従い、議題ごとに事務局より説明を行い、それぞれについて各委員に質問・意見を求めた。

また、推進計画については、「さっぽろ食の安全・安心推進ビジョン」を平成26年度末までの推進計画に位置づけることとし、新たな推進計画は、平成27年度からの運用を目指し、本会議の意見等を盛り込みながら作成することとした。

【各委員の意見等要約版】

1 「札幌市安全・安心な食のまち推進条例」について

(1)	市が提供する「市民が学習する機会」について、普段から食に興味を持っている人だけを対象とするのでは不十分だと思うので、広報さっぽろ等あらゆる人が情報を得られるような広報を行うべき。 (森委員)
(2)	自主回収報告制度は良い取組であると思うが、他の自治体でも行われているのか。 (池田会長)

2 推進ビジョン、推進計画について

(1)	推進計画の策定を27年度運用開始まで待たずに、昨今の情勢を踏まえて26年度運用開始できるように作った方がよいのでは、という意見もあるかもしれないがどうか。 (梶原委員)
(2)	作成する段階で生じている課題や問題に対応するような計画を作成すべきであると考えます。 (高橋委員)
(3)	推進計画は方針、指針であり、具体的な内容については別途また検討することができる。ビジョンは条例の趣旨に合ったものだと思う。 (池田会長)
(4)	条例の内容をはじめとした市の取組が消費者にどの程度認知されているか、安全・安心イベント等におけるアンケート等で情報収集した上で、推進計画策定に生かしてほしい。 (行方委員)
(5)	ア 推進計画の策定時には、市民や事業者にとってわかりやすいよう、用語の使い方等、表現についても注意してほしい。専門用語に対する注釈を入れるなどしてほしい。 イ 手洗い励行の啓発に重点的に取り組んでいるようだが、食中毒の直接の原因となる食中毒菌等への注意喚起が見えにくい気がするので、検討してほしい。推進計画・ビジョンの策定の前に、それらを策定するそもそもの目的がわからないのではないかと不安を感じる。 (森委員)

(6)	食品衛生の基本的な考え方として「まずは手洗い」というものがあり、その点について重点的に取り組むことについては御理解いただければと思う。 (池田会長)
(7)	キッチンメールはどこで見られるのか。小学校・幼稚園等でも配布されるものなのか。 (成澤委員)